

北海道PCB廃棄物処理事業 監視円卓会議だより

平成20年3月
第10号

日本環境安全事業(株)(JESCO)が、室蘭市仲町で行う北海道PCB廃棄物の処理事業について、事業が安全、確実かつ適正に行われるよう、北海道と室蘭市では、処理施設の整備や操業、処理事業における情報公開の監視などを行う『北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議』を設置しております。

今回は、平成19年12月20日開催の第10回監視円卓会議の内容を中心に、操業開始に向けた試運転の進捗状況をはじめ、事業開始に向けた取組み及び先行事業の視察結果、進捗状況に係る最新の話題などをお知らせします。

北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議(第10回)について

平成19年12月20日(木)午後2時より、室蘭市内のPCB処理情報センターにおいて、第10回監視円卓会議を開催しました。

会議には、学識経験者2名、団体委員5名、公募委員4名の委員11名のほか、登別市、伊達市、JESCO、事務局(北海道・室蘭市)など関係者が出席し、工事進捗状況、試運転の中間報告、緊急時対応マニュアル、大阪事業所視察報告などの説明を行い、それらに関する意見交換が行われました。

【会議の概要】

- 第9回監視円卓会議議事録等について
第9回監視円卓会議(10/10開催)の議事録が承認されました。
- 北海道事業の進捗状況について(JESCO)
全国における日本環境安全事業(株)のPCB処理事業の進捗状況、北海道事業における10月から始まった試運転の中間報告、緊急時対応マニュアル、分解処理確認方法等、廃棄物の処理方法、運転モニタリング計画などについて説明がありました。
試運転の中間報告では、非PCBによる試運転結果や1月から始まるPCB廃棄物による試運転の内容などについて説明がありました。
- 先行事業地視察報告(事務局)
円卓会議委員により11月に実施したJESCO大阪事業所の視察及び大阪市との意見交換についての報告が行われ、先行事業の経験や取組みをいかに北海道事業に生かしていくかについて話し合われました。
- その他(事務局)
平成19年度の環境モニタリング測定結果や北海道PCB廃棄物処理事業実施計画の見直しについて説明しました。



(監視円卓会議の協議状況)



(処理施設への試運転物の搬入)



(大阪事業所への委員の視察)

主な議事等の内容

試運転・収集運搬の中間報告について

現在行われている試運転について、中間報告が行われました。試運転終了後、4月を予定として処理が始まります。

1 試運転の期間と主な確認内容

試験名	期	間	確認内容
電動機単独調整	H19	3～4月	電動機結線、回転方向の確認
総合調整運転		4～10月	安全に切断、解体、選別等の可否、前処理設備の各設備の動作確認 液処理設備の液流量等の機能が設定値にあることを確認
非PCB廃棄物 負荷試験		10～12月	各機器の安全な切断、解体、選別の可否、各機器及び装置の機能確認 液処理設備の所要時間、緊急停止機能試験での安全な停止・再起動を確認
PCB廃棄物 負荷試験	H20	1～3月	予備性能試験～連続的な処理運転の実施 引渡性能試験～連続運転による性能の確認

2 PCB廃棄物による試運転の内容

試運転の対象物（1～3月に試運転で処理）

対象物	トランス		コンデンサ		合計	
	大型	車載	小型	特殊		
台数(台)	6	3	10	218	8	245

液処理用 の対象物
12.5 (ト)



(試運転の状況)

試運転における確認内容

確認内容	主な確認項目	主な測定項目	主な測定場所等
処理性能	分解処理確認等	PCB、ダイオキシン類	反応槽、分解済油
環境保全性能	排気、排ガス	PCB、ダイオキシン類	排出口、最終放流口
作業環境性能	作業環境	PCB、差圧	各解体エリア

分析方法等...分解完了は、分解済油で工程管理値を0.1mg/kg以下として分析を行い確認します。

収集運搬...マニフェストを管理するシステムを実際に用いて、専門の処理業者に処理を委託します。

3 緊急時対応

緊急時対応は、緊急時対応マニュアル(案)に基づき実施し、緊急時連絡を行います。

訓練の実施...11月6日に総合防災訓練を行ったほか、火災・防災訓練を想定される事象ごとに行いました。

4 教育訓練

運転会社の作業員に対する必要な教育訓練を、他事業所における現地研修を含めて対象者別に実施しており、試運転が終了する平成20年3月まで引き続き実施し、安全確実な処理体制を構築します。

5 試運転におけるPCB廃棄物の収集運搬

搬入経路...処理施設までの搬入経路は、受入基準の規定に従い、国道36号又は37号を経由するなど、なるべく広い市街路を通り、国道36号仲町ランプから処理施設へ搬入するものとします。

搬入時間...原則として、8時30分から17時まで、受入作業は8時30分から19時までとし、土曜日、日曜日及び祝日は受入しないこととします。

安全確保...廃棄物処理法に基づく特別管理産業廃棄物収集運搬業の許可を受け、処理施設への入門許可を取得した収集運搬業者が、GPSシステムにより運行管理を行い収集運搬します。

緊急事態対応...運搬車両に積載したGPSシステムにより、交通事故などの緊急事態が発生した場合には、関係機関に対してFAXで通報されます。

進捗状況・その他議題について

全国進捗状況...北九州、豊田、東京、大阪の4事業所における操業について報告

PCB廃棄物処理事業基本計画の変更...国の基本計画の変更により、北海道事業の処理対象物などを変更

緊急時対応マニュアルの修正...第7回円卓会議で北海道及び室蘭市と協議中として説明した調整案を一部変更

分解処理の確認方法等...PCBが分解されていることを確認するための方法等を報告

廃棄物の処理方法...再利用可能なものはできるだけ有効利用し、利用できないものは産業廃棄物処理業者へ抽出し適正処理

運転モニタリング計画...操業データと作業状況を中央制御室で監視し、一部は情報公開ルームでも公表

環境モニタリング結果...最新データを報告(特に異常なし)

H19北海道PCB廃棄物処理実施計画改正...収集運搬・処理を平成19年度に行わないことなど内容を変更

改善内容の報告...先行事業の知見、JESCOの指摘による施設の補修・改善工事の内容報告

北九州事業事故...北九州事業処理施設の溶剤蒸留塔からの溶剤漏れについて報告(外部への漏洩や作業員への影響はありませんでした。)

● 委員からの主な質問と回答

試運転中間報告について

(質問) 委員

試運転の時に、PCBに近いものを使わず、普通の油で試運転を行い、いきなりPCBを使うのは考えにくい。

(回答) JESCO

PCBではない油はPCBと反応が違うので参考とならないため今回使用しなかった。

これまでの非PCBによる試運転は、配管等の液漏れ、反応槽等の温度上昇の対応などを確認するもの。

(質問) 委員

他の事業でも、いきなりPCBを使うのか。

(回答) JESCO

他の4事業でも同様に試運転しており、実証認定を受けた方式で、北九州でも事業化レベルで確認しており、PCBの分解はPCBを使用する。

(意見) 委員長

今は施設が設計どおり機能するかを確認している。1月からは、PCBを使用し、全て設計どおり機能するか確認する。

(意見) 委員

他の事業でも既に処理されているので機能のチェックをすればいい。濃度が低いものからやればいいと思う。

(補足) JESCO

分解薬剤(SD)を予め反応槽に入れておき、少しずつPCBを加えて反応を制御し、異常があれば止める。

緊急時対応マニュアルについて

(質問) 委員

緊急時対応マニュアルによって、事故情報が市に伝えられた後、地域住民の対応の仕方など、どのように知らせるのか。

(回答) 室蘭市

避難が必要な状況なのかなど、状況を見極めて判断しなければならぬと考えている。万が一にもあってはならないことだが、大火災などの際の風下住民への対応など、色々と想定して考えていきたい。

(質問) 委員

市民の関心事は、何かあった時にどうするのだろうかということだ。対応を早めに整理しておいていただきたい。

(意見) 委員長

非常に大事なことで、市で案を作り地域と防災体制を整備してほしい。

(質問) 委員

漏洩とか事故時に、PCBを含むかどうか判断するまで時間がかかるので、どんな小さなことでも公表すべきだ。

(回答) JESCO

PCBが含まれているかが分からない場合は、含まれているものとして対応する。

(意見) 委員

外に漏れた場合などは、すぐに公表した方がいいが、その他は、きちんとレベル分けをして事後報告すべきだ。

(意見) 委員

どんな小さなことでも報告して、対処すべきだ。

(回答) JESCO

直ちに通報、または事後でも良いものなど、段階があると思うが、基本的には全て知らせるつもりである。

卒業判定等について

(質問) 委員

廃アルカリなど処理後の廃棄物はどうなるか。JESCOの責任はどうなるか。

(回答) JESCO

廃棄物の委託先は入札を行い決定する。廃棄物処理法などの法令を遵守する。

(質問) 委員

処理済油、廃アルカリを北九州ではどう処理しているのか。

(回答) JESCO

室蘭の施設では、処理済油と液状の廃アルカリが残る。北九州では、処理済油は売却し、汚泥状の廃アルカリは高温焼却処理され、固形物はセメント原料となる。

(意見) 委員

これは産廃処理の問題であり、不法投棄等防止のため、マニフェストで追跡する。廃アルカリなども同様だ。一般的な産廃物の処理に懸念があるという指摘か。

(意見) 委員

廃棄物についてほとんど議論されておらず、風呂屋が処理済油を欲しがっているという噂もある。管理された燃焼でなければ、PCBが再生する恐れがある。

(意見) 委員長

この件については、円卓会議で何回も説明があったし、委員が言うほど市民が知らないということはないと思うが、JESCOも市・道と協議し、廃棄物の処理内容について、市民に知らせる努力をしてほしい。

(意見) 委員

廃アルカリが、4,400t/年も出るとのことなので、行き先を明確にして欲しい。

(意見) 委員長

業者が確定したら円卓会議に示してほしい。

運転モニタリング計画について

(質問) 委員

モニタリング(監視)はリアルタイムで行われるのか。

(回答) JESCO

プロセス排気等のオンラインモニタリングは、一ヶ所当たり、15分かかる。系統が複数あるため、1時間15分から1時間30分間隔の測定となる。

(質問) 委員

それでは、最悪の場合、1時間15分位出続けるのか。

(回答) JESCO

0.1(mg/m³N)と0.01(同)の時点で警報、0.1(同)を越えそうなら自動的に出口の排気口ダンパーを遮断する。

(質問) 委員

セーフティネットの活性炭槽はどれ位の処理能力を持っているのか。

(回答) JESCO

北海道では活性炭槽の前でモニタリングを行っているため、活性炭槽により90%PCBを除去できる。

(意見) 委員長

将来的には、別の検出方法を検討してほしい。

北海道事業の進捗状況について（最新の話など）

総合防災訓練の実施（11月6日）

PCB廃棄物処理施設において、PCBによる試運転や本格操業を前に、室蘭市消防署とともに、火災発生の際の円滑な防災活動に資することを目的として、総合防災訓練が行われました。

地元町内会、北海道、室蘭市などの関係者が見守る中で、約130名が参加し、通報、連絡、避難、負傷者救助、消火設備起動などの訓練を行い、無事終了しました。

大阪事業の視察（11月20日～21日）

円卓会議委員により平成18年10月から操業を始めた大阪事業所の視察が行われました。

視察には、委員4名のほか、北海道、室蘭市、JESCOが同行しました。

【委員コメント】

- ・大阪事業の監視委員の市民委員は2名と少なく、委員会も半年に1回では少ない。
- ・施設周辺は多数の人が出入する地域だが、環境モニタリングを行う場所が1ヶ所と少ない。
- ・ヒヤリハットの内容を各事業所で情報交換し、作業従事者のレベルアップが必要だと思う。
- ・大阪では雨の日はPCBの輸送を行わないが、北海道では冬季の輸送が問題だ。
- ・操業は利益優先やノルマ達成第一でなく、安全に処理することを第一に考えてほしい。
- ・大阪は収集日や時間を拡大しており、北海道でもフェリー利用車のために待機や休憩を行う場所の検討が必要ではないか。
- ・ヒヤリハットやキガカリなどの従事者からの報告データの分析や共有を行い、改善に結びつけるマネジメントにより、従事者の定着や安全・安心に繋がると思う。

PCB処理情報センターの土曜開放（12月22日）

昨年10月22日から一般公開されているPCB処理情報センターの「土曜見学デー」が実施され、普段開館していない土曜日に一般公開が行われ、多くの市民が訪れました。

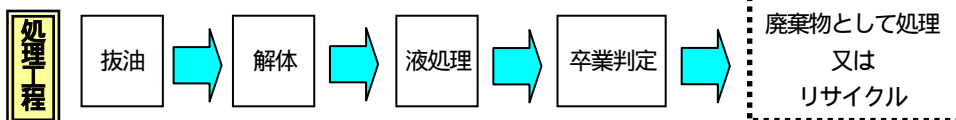
PCB処理情報センターは、PCB処理事業についての情報公開を目的とした施設であり、これまでに道内外から500名以上の視察・見学者が訪れています。

通常の開館は、月～金曜日の午前9時～午後4時30分までです。また、処理施設の見学も随時受け付けております。（申し込み先：日本環境安全事業株式会社北海道事業所 0143-22-3111）

PCB廃棄物の初搬入（1月7日）

本格稼働に向けて試運転中のPCB処理施設で、試運転で使用するために、PCB使用のトランス3台、コンデンサ3台、PCB油の入ったドラム缶8本が処理施設に搬入されました。

市内2ヶ所から企業が保管していたPCB廃棄物を、道や市、日本環境安全事業株式が立会い、施設への搬入が行われ、ステンレススチール製の容器を使用し、GPSによる運行管理、運搬車両・PCBの表示など、国、北海道、日本環境安全事業株式の規制に従い、事故もなく安全に搬入が行われました。



（総合防災訓練の実施状況）



（大阪事業所の視察状況）



（情報センター開放日の状況）



（施設への搬入状況）

PCB廃棄物処理事業に関するお問合せ

日本環境安全事業株式会社 北海道事業所

〒050-0087 室蘭市仲町14番地7

TEL: 0143-22-3111 FAX: 0143-22-3001

日本環境安全事業株式会社ホームページ <http://www.jesconet.co.jp/>



PCB廃棄物処理事業監視円卓会議に関するお問合せ

北海道環境生活部環境局循環型社会推進課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL: 011-231-4111(24-312) FAX: 011-232-4970

E-mail: kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kseikatu/ks-khhts/index.html>

室蘭市経済部産業振興課【環境産業】

〒051-8511 室蘭市幸町1番2号

TEL: 0143-25-2704 FAX: 0143-25-2478 E-mail: keizai-ei@city.muroran.lg.jp

<http://www.city.muroran.lg.jp/main/index.php>



「円卓会議だより」や円卓会議の会議資料は、北海道と室蘭市のホームページでご覧いただけます。
また、この「円卓会議だより」は、室蘭市の各サービスセンターでも配布しています。